

統計情報の利用について | 1. 統計データの提供

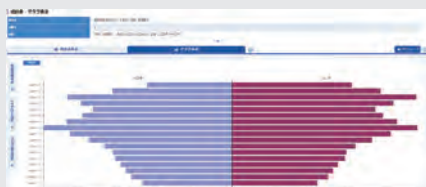
政府統計の総合窓口(e-Stat)

政府統計の総合窓口(e-Stat)は、各府省が公表する統計データの取得、地図上に表示する機能等を備えた政府統計のポータルサイトです。



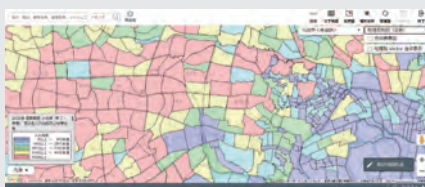
A 統計データを探す

目的とする統計データを探し、表やグラフで見たり、ダウンロードすることができます。



B 統計データを活用する

統計データをより便利に使えるよう、グラフや地図での可視化、地域の比較に特化した機能を使うことができます。



C 統計データの高度利用

統計マイクロデータの利用、API機能の紹介等、調査で使用した調査票のサンプルなどを見ることができます。



1 統計ダッシュボード

統計ダッシュボードは、主な統計データをグラフや時系列などに加工して一覧表示し、視覚的に分かりやすく提供するWebサイトです。

- 公的統計を見える化、簡単な操作で利用可能
- 地域別や時系列での比較が可能
- グラフの数値データや時系列表をダウンロード可能



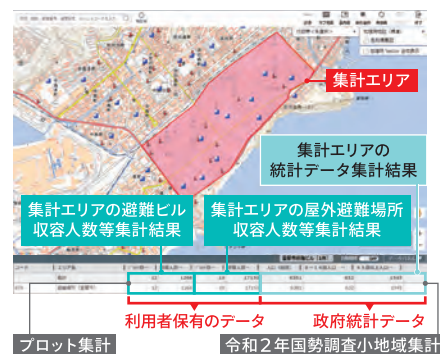
2 地図で見る統計(jSTAT MAP)

地図で見る統計(jSTAT MAP)は、統計データを地図上で色分けして表示するなど、可視化することができるWebサイトです。主に以下の機能を提供しており、統計地図の作成、防災、施設整備、商圈分析等の地域分析に利用可能です。

また、他の地理情報システムで利用することができる境界データ等をダウンロードすることもできます。



- プロット作成機能
- エリア作成機能
- 統計グラフ作成機能
- レポート作成機能



3 API 機能

政府統計の総合窓口(e-Stat)のAPI※機能を利用することで、e-Statのデータ更新に合わせたデータの自動取得やe-Statに収録された統計データと利用者の保有データを組み合わせた分析処理の自動化などが可能になります。

※API(Application Programming Interface)は外部のシステムが自動で統計データの取得ができるようになる機能

